

CHOFU

取扱説明書

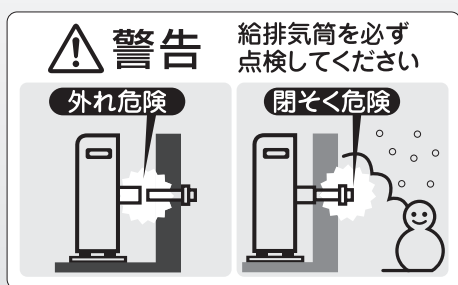
保証書付

石油暖房機

〔密閉式石油ストーブ〕

型名

SUNPot FFR-G5640SX D ビルトイン



お客様ご自身による工事は危険です。
据付工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書をお読みになる前に

使ってみよう！

お部屋を暖めたい

点火 ▶ 15ページ

火力の調節 ▶ 18ページ

経済的に暖房を使いたい

エコプラス運転 ▶ 17・23ページ

手動運転で暖房を使いたい

手動運転 ▶ 18ページ

起床する前にお部屋を暖めたい

タイマーセット

▶ 22ページ

灯油の使用量を知りたい

おしえてNavi[◆](ナビ)プラス機能

▶ 24～25ページ



困ったときは？

お手入れの方法は？

▶ 28～29ページ

ストーブの動きがいつもと違う

▶ 32～38ページ

表示部・操作部にチェックモードが出ている！

▶ 33～37ページ



取扱説明書をお読みになる前に	2
特に注意していただきたいこと	4
使用する場所	
（効果的に使用するために）	9
各部の名称	
（外観図）	10
（操作部）	11
（表示部）	12
ご使用前の準備と確認	
（燃料）	13
（給油）	13
（空気抜き）	13
（点火前の準備と確認）	14

使用方法	
（点火）	15
（モード切換）	17
（火力の調節）	18
（ワンタッチ微小運転）	19
（消火）	20
（設定切換）	21

使用方法	
（タイマーセット）	22
（エコプラス運転）	23
（おしえてNavi(ナビ)プラス機能）	24
（積算値のリセット）	25
（チェックモードガイド）	26
（チャイルドロック）	27
日常の点検・手入れ	
（点検・手入れのときの注意）	28
（点検・手入れの必要事項、時期、方法）	28
定期点検	
（定期点検の実施時期）	30
（定期点検の内容）	30
設計上の標準使用期間について	31
故障かな？と思ったら	
（修理を依頼する前に）	32
（安全装置）	34
（その他の装置）	35
（チェックモード）	36
（点検時期お知らせ機能）	37
部品交換について	39
保管	39
仕様	40
据付け・移設	41
試運転	43
配線図	45
保証書	巻末
アフターサービス	裏表紙

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



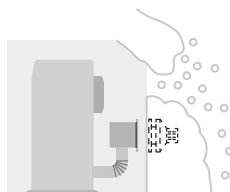
●給排気筒(管・ホース)はずれ危険

給排気筒(管・ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



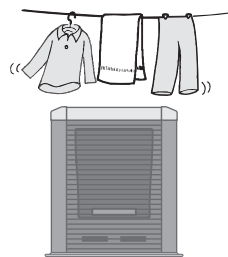
●給排気筒閉そく危険

給排気筒(管・ホース)がつまったり、ふさがれたりしたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたまま使用しないでください。
ふさがれているときは除雪してください。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



●温風吹出口をふさがない

衣類や紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
衣類や紙などでふさぐと、火災の原因になります。

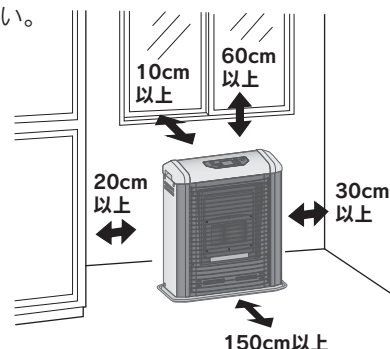


●可燃物近接厳禁

カーテン・布団・毛布など燃えやすい物のそばなどで使用したり、ストーブや排気管に近づけたりしないでください。
火災の原因になります。
可燃物とは図の示す距離を確保してください。
詳細は据付場所の選定および標準据付例を参照してください。



41～42ページ

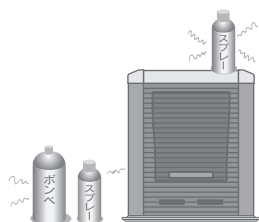


●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。				
	ガソリン厳禁		接触禁止		分解禁止		衣類乾燥禁止
	電源プラグを抜く		一般的な警告・注意				

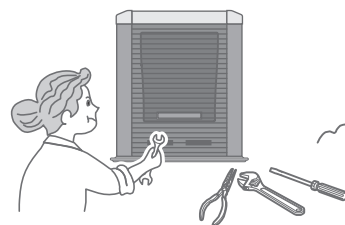
●スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、温風のあたるところや、ストーブの上や前に(周囲に)放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



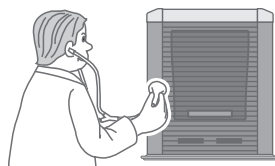
●ご自身での据付け・移設工事の厳禁

お客様ご自身による工事は危険です。据付工事は販売店や専門業者にご依頼ください。(ストーブを移設させる場合も同じです。)



●定期点検の実施

定期的(2年に1回程度)に点検・整備を受けてください。点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。点検・整備はお買い求めの販売店や資格者のいる店に依頼してください。



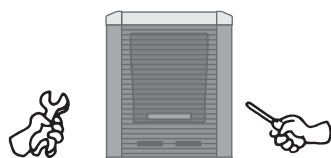
●外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使ってストーブのスイッチを操作する外付け装置(※)は安全性を確認できないため、使用しないでください。※操作ボタン付近に設置し、インターネット通信などを介して、操作ボタンを入り切りできる装置。



●改造・分解禁止

改造して使用しないでください。また、ストーブや排気筒には床暖房用の熱交換器などを取り付けしないでください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。改造・分解して使用しないでください。改造・分解は、ストーブの安全性を損なうため、火災など、思わぬ事故の原因になります。故障、破損したら使用しないでください。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

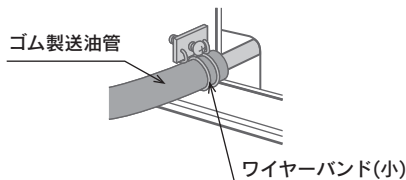
●給油時は消火する

給油は必ず消火し、火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。



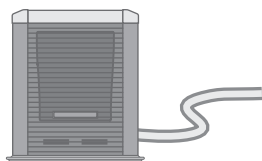
●油漏れの確認

油タンク・ゴム製送油管・接続部・送油バルブおよびストーブなどから灯油漏れがないことを確認の上、ご使用ください。
灯油が漏れていると火災の原因になります。



●ゴム製送油管の点検・交換をする

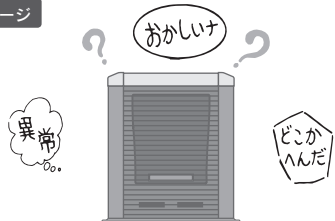
ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に1度は新しい物に交換することをおすすめします。
交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



●異常・故障時使用禁止

油漏れや臭い、ススの発生、炎の色・エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。
事故の原因になります。
「故障かな?と思ったら」に従って処置してください。

32～38 ページ



●不良灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



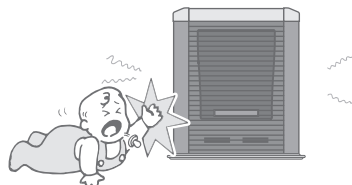
●温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



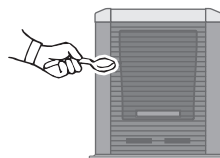
●高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(前面ガード)、排気筒(給排気筒トップ)に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。



●指や異物を入れない

ガード内や空気取込口などに指や異物を入れないでください。
けがや火災の原因になります。



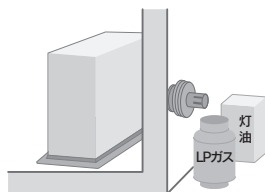
●腰をかけたり物を載せない

ストーブの上に乗ったり、腰をかけたりしないでください。
機器の故障や、やけどのおそれがあります。
ストーブの上に花瓶や水を入れた物などを置かないでください。
水がかかると、漏電や故障の原因になります。



●給排気筒付近の可燃物近接禁止

給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのある物を置かないでください。火災の原因になります。



●特殊な場所での使用禁止

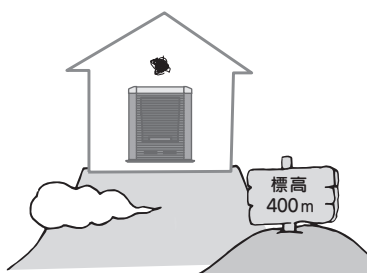
ストーブは居室の暖房用としてつくられた物ですので、乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店・美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。



●高地で使用するときはご相談ください

標高400m未満でご使用ください。標高400m～1,200mで使用する場合は調整が必要です。そのまま使用すると、空気不足となり、異常燃焼の原因になります。

(詳しくは、工事説明書の延長給排気方式・高地使用時の工事方法を参照してください。)
標高1,200mを超える高地では使用できません。



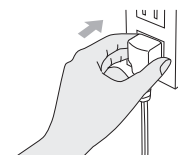
●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



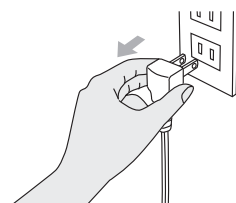
●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグや緩いコンセントは使用しないでください。)火災の原因になります。ぬれた手で抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



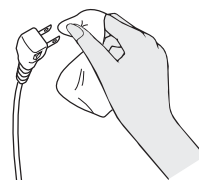
●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



●電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



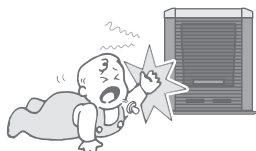
特に注意していただきたいこと

お願い

使用上の注意

●高温部に注意

燃焼中や消火後のストーブの上面板・前面ガード・給排気筒トップ・排気管は高温です。やけどに注意してください。特にお子様をストーブに近づけないでください。保護ガード（関連部材）のご使用をおすすめします。前面ガードをはずしたまま使用しないでください。放熱器やガラスなどの高温部に誤って触れますとやけどします。給排気筒トップや排気管は高温です。やけどに注意してください。



●雷時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。激しい雷の影響でストーブが故障するおそれがあります。



●シーズンオフの注意

シーズンオフのように、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。また、シーズン初めに使用されるときは、『ご使用前の準備と確認（13～14ページ）・試運転（43～44ページ）』の項を参照して確認および操作を行ってください。

●ガラス部の注意

ガラスには水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。ガラスが割れて、危険です。

●長期間使用時の注意

長期間使用すると、ガラス内部に白い物質が付着することがあります。これは灯油中の成分が付着したもので、ガラスの耐久性には問題ありません。

●ストーブ前面付近の注意

ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので熱に弱い物を置いたり、敷いたりしないでください。変色や変形することがあります。

●給排気筒結露水の注意

給排気筒の先端から結露水がたれることがありますが、異常ではありません。排気管に結露水がたまった場合は、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

●燃料切れの注意

燃料を途中で切らしたり、送油バルブを閉じたまま燃焼させたりすると、消えるときに小爆発音を発生することがあります。燃料を切らさないようにしてください。また、送油バルブが開いていることを確認の上、点火してください。

●機器を廃棄するときの注意

ストーブを廃棄処分するときは、定油面器の灯油を抜き取ってください。灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。

●灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

使用する場所

- ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。
- 場所の選定は「据付場所の選定および標準据付例」の項をお読みください。41～42 ページ

効果的に使用するために

- 冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据え付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
- ストーブの前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

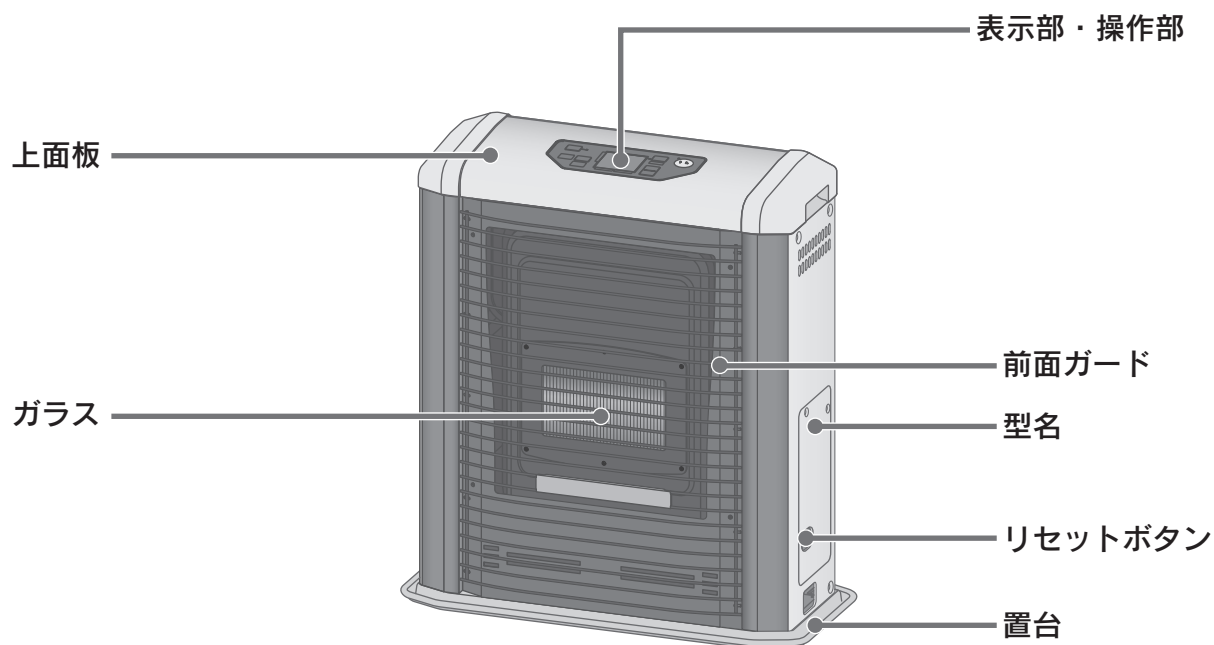
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を載せた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- 付近に燃えやすい物がある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 標高1,200mを超える高地

各部の名称

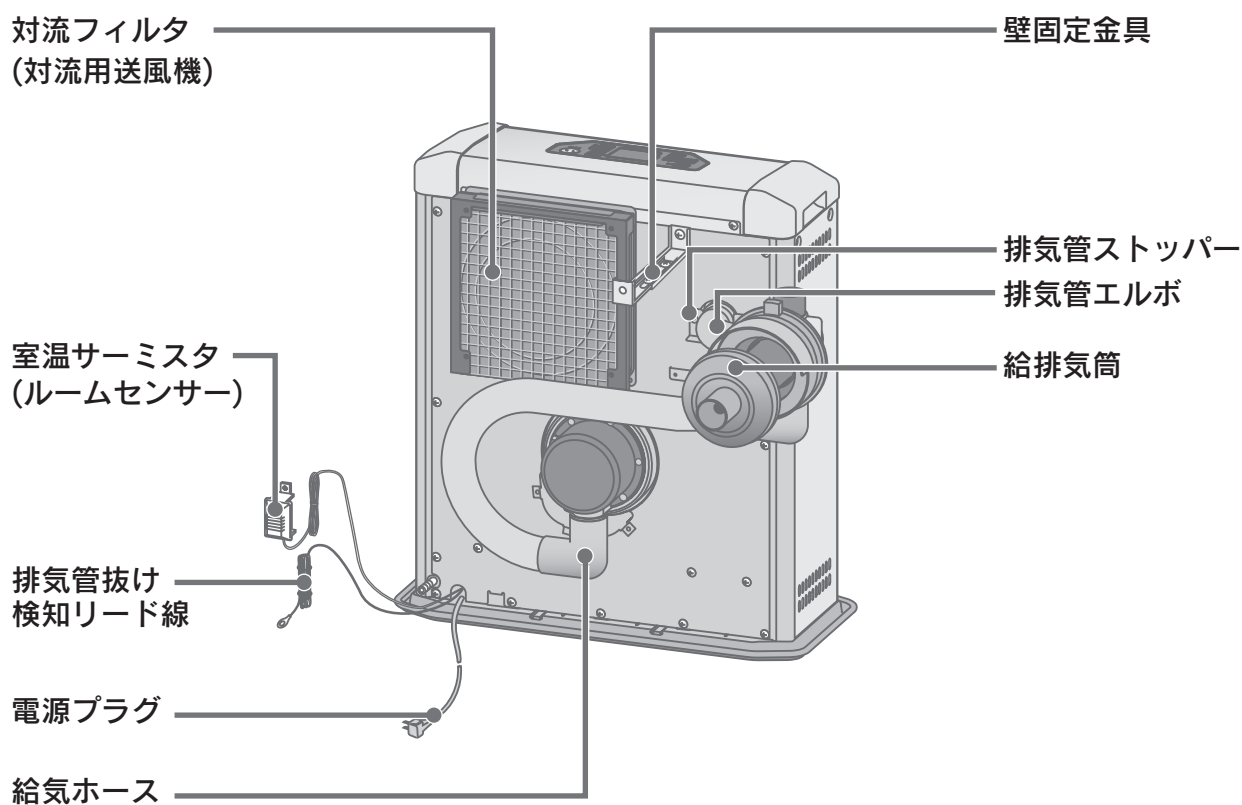
外観図

イラストはイメージです。

正面

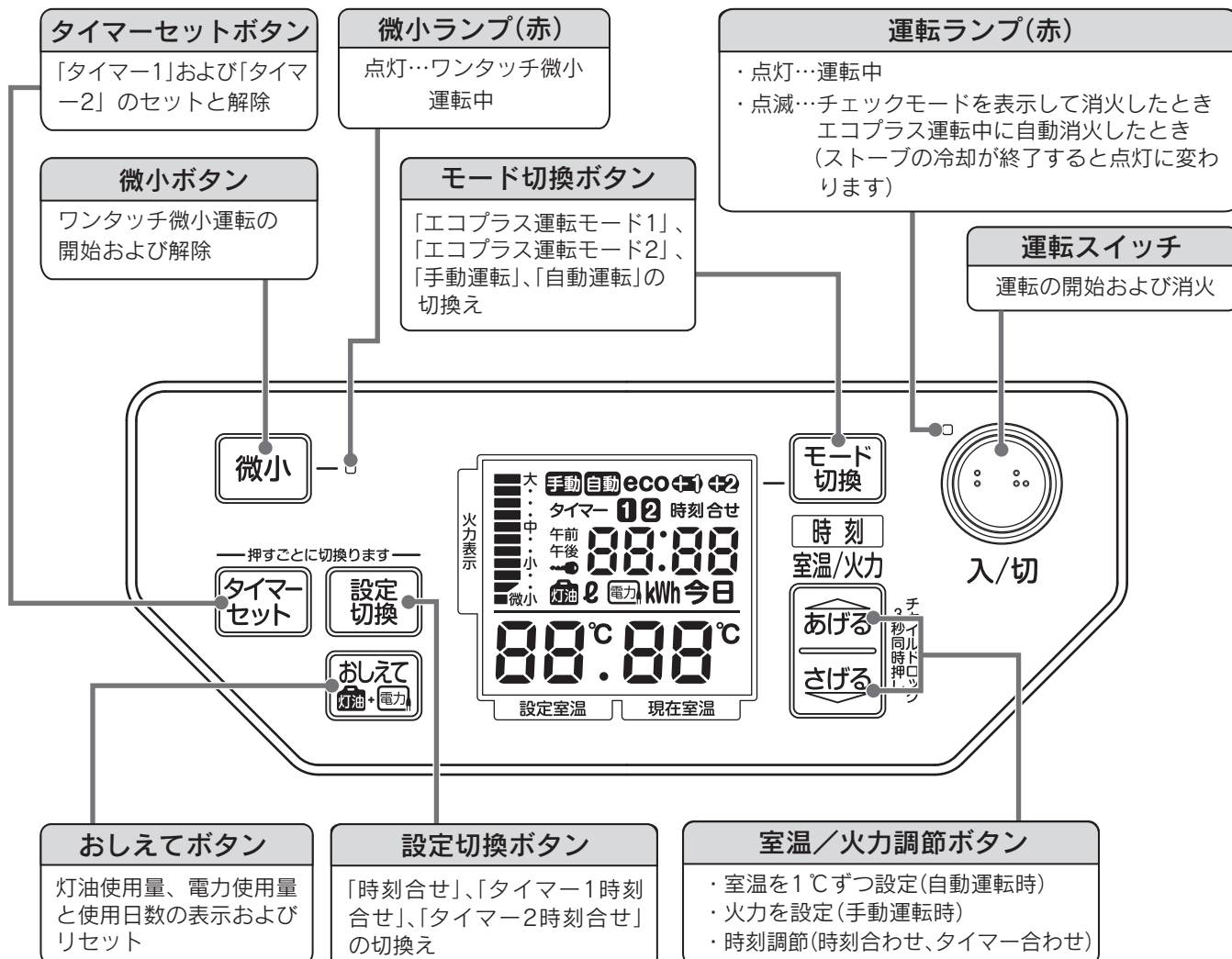


背面



操作部

イラストはイメージです。



ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

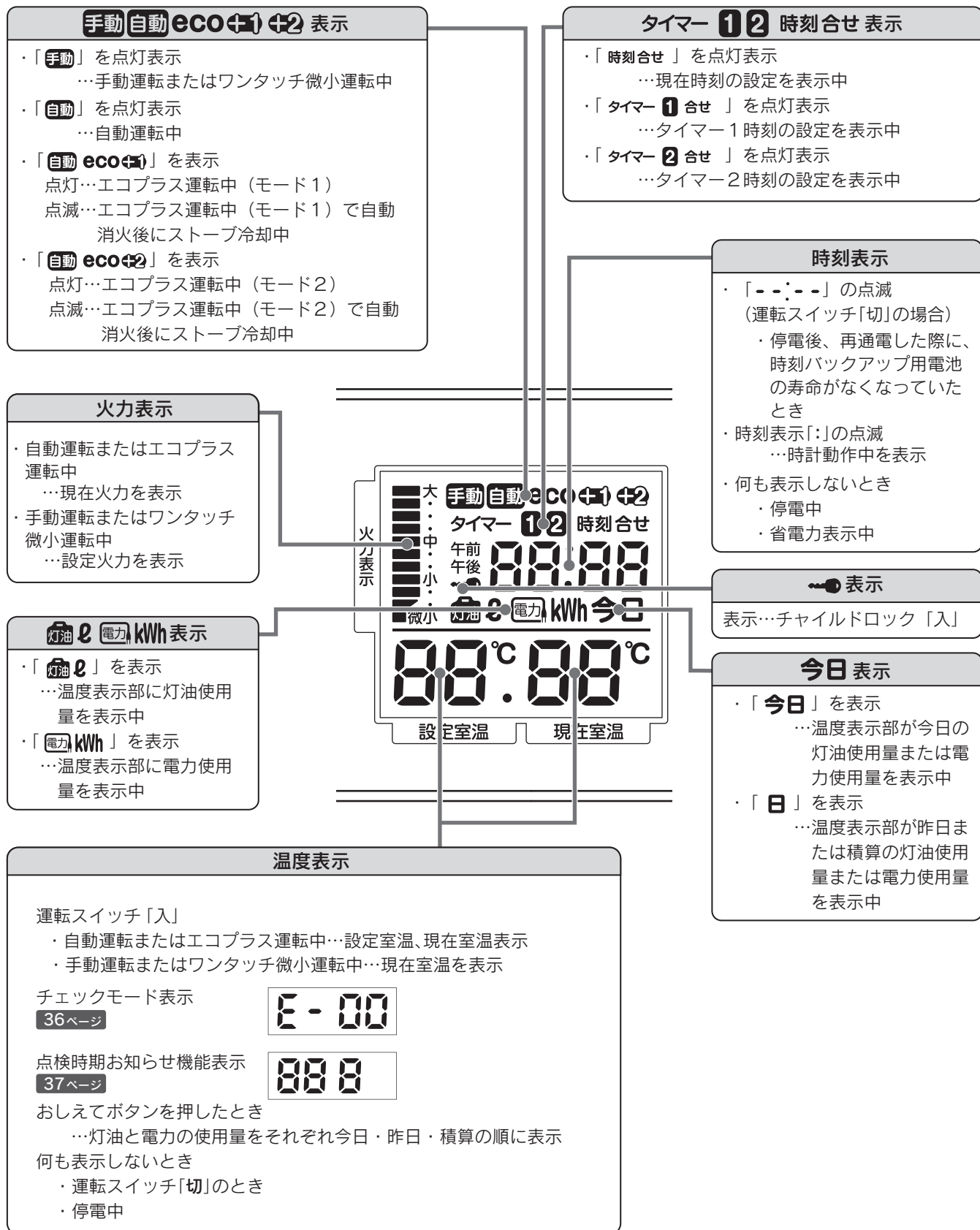
ご注意

- 操作ボタンを押すと受付音「ピッ」音を発して、受け付けたことをお知らせします。
- 操作を受け付けたとき、音声でお知らせするものがあります。
- 誤ったボタンを押すと「ビピッ」音を発して、受け付けないことをお知らせします。
- 音声の設定、音量の調節ができます。 **26ページ**

各部の名称

表示部

イラストはイメージです。



ご使用前の準備と確認

燃料

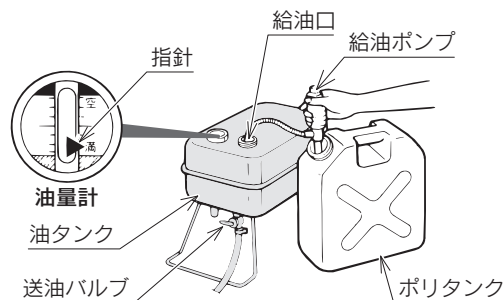
- 燃料は、灯油(JIS1号灯油)を必ず使用してください。
- 不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。
不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは、
 - ・ 変質灯油：古い灯油(ひと夏持ち越した灯油)・日あたりがよい場所に保管した灯油・温度が高い場所に保管した灯油など。
 - ・ 不純灯油：灯油以外の油(ガソリン・シンナー・天ぷら油・機械油・重油など)がほんの少しでも混入した灯油。また、水・ゴミが混入した灯油。
- 変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、ストーブの故障の原因になります。

給油

給油はストーブを消火してから行ってください。

- 1 油タンクの送油バルブを閉める
- 2 油タンクの給油口ふたをはずし、給油する

- 油量計の表示が「満」の印以上には絶対に入れないでください。



- 3 給油口ふたを確実に閉める
- 4 こぼれた灯油はよくふきとる

ご注意

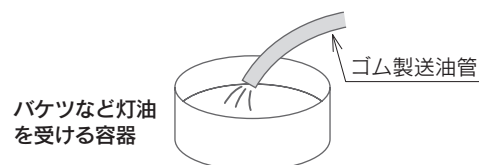
- 油タンクは空にしないでください。
「空」まで燃焼させるとストーブより「ボン」と音がしたり、ススが発生したりして、故障の原因になります。
- 給油するときは、ゴミなどが入らないよう注意してください。燃焼不良の原因になります。

空気抜き

初めて使用するときや、油切れでチェックモードが表示されたときに行ってください。

- 1 油タンクの送油バルブを閉める
- 2 ストーブからゴム製送油管をはずす
- 3 送油バルブを開けて、灯油が連続して流れることを確認する

- 灯油がこぼれないように容器を用意してください。



- 4 送油バルブを閉めて、ゴム製送油管を元通りに取り付ける

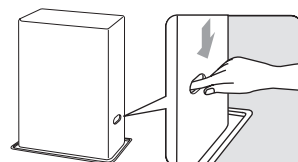
ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 定油面器安全装置のセッ

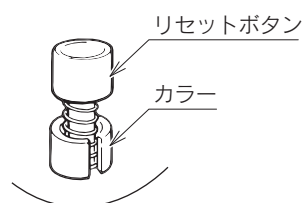
- 初めて使用するときやシーズン初めに使用するとき、リセットボタンを押してください。
据付時やストーブに強い振動をあたえたときに、定油面器の安全装置が作動して灯油が流れないようにになっています。
点火操作後、油タンクに灯油が入っていても「E-03」「E-05」「OIL」のチェックモード表示が出たときは、リセットボタンを押して安全装置を解除してください。

リセットボタンを軽く押し、
すぐ指を離す



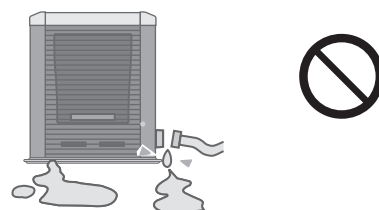
ご注意

- リセットボタンを燃焼中むやみに触らないでください。
- 絶対にカラーをはずして、押さないでください。



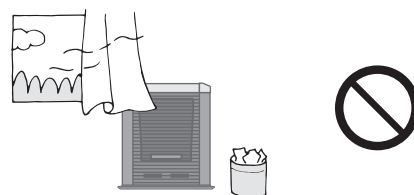
2 油漏れの確認

- ゴム製送油管やストーブの置台に油漏れがないことを確認してください。
万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店
または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



3 ストーブ周囲の確認

- ストーブの周囲および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないことを確認してください。
火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。



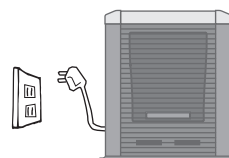
4 給気ホース・排気管の接続の確認

- 給気ホース・排気管が正しく接続されていることを確認してください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。



5 電源プラグの接続

- 電源プラグが100Vの専用コンセント（家庭用AC100V）に差し込んであることを確認してください。また、電源コードを給排気筒に巻きついたり、排気筒などの高温部に触れたりしないように注意してください。

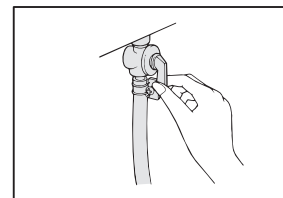


使用方法

点火

運転を開始します。

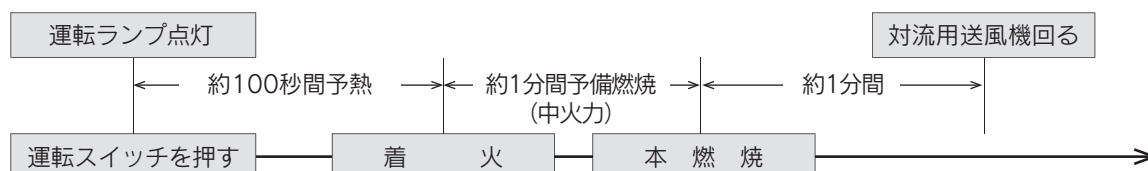
1 油タンクの送油バルブを開く



2 を押して「入」にする

入/切

- 運転ランプと表示部が点灯し、「点火します」と音声でお知らせします。
約100秒間予熱後、着火します。
(室温・外気温により着火までの時間は変動します。)
- 着火後、約1分間予備燃焼を行い、本燃焼へ移行します。
本燃焼へ移行して約1分経過後に対流用送風機が回ります。



炎の状態

- 大燃焼時の炎の状態
燃焼中赤い横線が見えますが点火プラグとフレイムセンサーが赤熱しているためで異常ではありません。
点火後しばらく黄色みがかった炎やピンク色の炎が混じることがあります。空気中のほこりなどによるものです。
また燃焼中瞬間的に赤い炎が出ることがありますが、油配管中の空気によるもので異常ではありません。
- 微小燃焼時の炎の状態
微小燃焼時は条件により変化します。
空気量の割合が多めの場合は、バーナーが一部赤熱するため赤紫色の炎になります。
耐熱材料を使用しているため、性能・品質に異常はありません。
空気量の割合が少なめの場合、青い炎となります。

詳しくは別紙「炎の状態について」をご覧ください。

使用方法

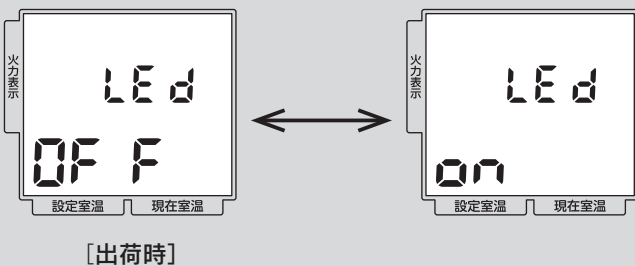
お願い

- 初めてのご使用時や油切れを起こした後は、
 - ・「OIL」のチェックモードが表示されることがあります。
 - 5～6分待つてから運転スイッチを入れてください。
 - ・点火の際、一時的に大きく赤い炎が出ますが、送油経路内の空気が抜けるためで異常ではありません。
- 初めてのご使用時や油切れを起こした後の点火の際など1回で点火しない場合があります。この場合は自動的に点火を3回繰り返します。それでも点火しない場合は「E-03」のチェックモードが表示されます。
- 運転スイッチをいったん「切」にし、送油経路内の空気抜きを行ってください。 **13ページ**
- 点火時に「ジー」という音が出ますが、点火のスパークの音で異常ではありません。
- 運転スイッチを「入」にし、表示部に「E-19」が表示された場合は、排気管の接続が不充分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。
- 運転スイッチをいったん「切」にし、ストーブが停止したのち点検して確実に接続してから、運転スイッチを「入」にしてください。 **35ページ**

省電力表示について

運転スイッチが「切」でストーブが停止中に2分間ボタン操作がないと省電力表示となり、表示部の表示がすべて消えます。この状態でもいずれかのボタンを押すと、表示部が点灯し操作ができます。

運転スイッチが「切」のときでも常に時計を表示させたい場合は、下記の手順を参考にして設定してください。



- ① 運転スイッチを「切」にします。
- ② 室温／火力調節ボタンの「あげる」とタイマーセットボタンを5秒間同時押しします。
- ③ 表示部に「LED OFF」が表示されますので、室温／火力調節ボタンの「あげる」を押すと「LED on」が表示されます。
- ④ そのまま10秒間待つか設定切換ボタンを押すと「設定を変更しました」と音声でお知らせし設定が完了します。

設定を元に戻す場合は、以下の手順を参考にして設定してください。

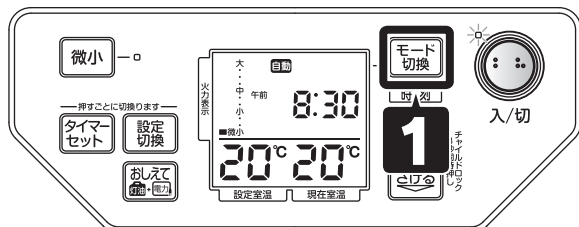
- ① 運転スイッチを「切」にします。
- ② 室温／火力調節ボタンの「あげる」とタイマーセットボタンを5秒間同時押しします。
- ③ 表示部に「LED on」が表示されますので、室温／火力調節ボタンの「さげる」を押すと「LED OFF」が表示されます。
- ④ そのまま10秒間待つか設定切換ボタンを押すと「設定を変更しました」と音声でお知らせし設定が完了します。

モード切換

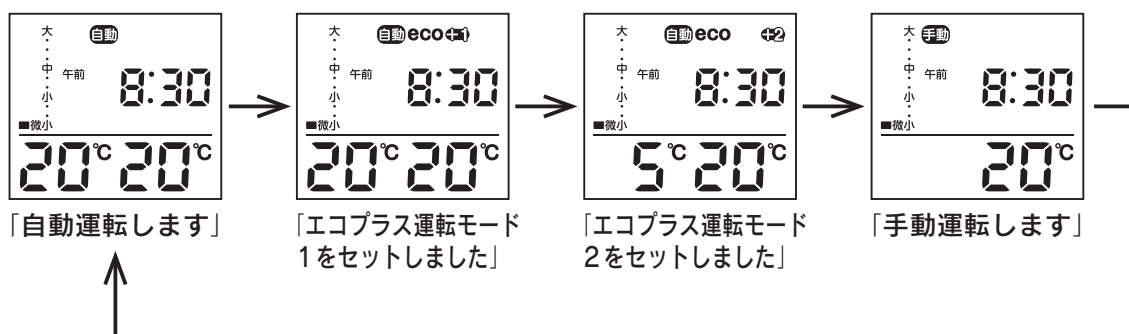
1



を押す



- モード切換ボタンを押すごとに、「エコプラス運転モード1」→「エコプラス運転モード2」→「手動運転」→「自動運転」の順に切り換ります。
- お好みのモードにし操作をやめると、音声でお知らせし設定が完了します。



自動運転

- 設定室温と現在室温に応じて自動的に火力を変えて運転します。
- 室温が設定室温まで上昇しても消火しません。

エコプラス運転モード1

- 設定室温と現在室温に応じて自動的に火力を変えて運転します。
- 室温が設定室温まで上昇すると自動消火します。※
- 自動消火後、室温が低下すると再点火します。※
- 比較的暖かい時期に使用すると室温の上がりすぎを防ぐことができ便利です。

エコプラス運転モード2

- 設定室温と現在室温に応じて自動的に火力を変えて運転します。
- 室温が設定室温まで上昇すると自動消火します。※
- 自動消火後、室温が低下すると再点火します。※
- 室温の設定をエコプラス運転モード1で設定した室温よりも低い温度にワンタッチで切り換えたいときに使用すると便利です。

手動運転

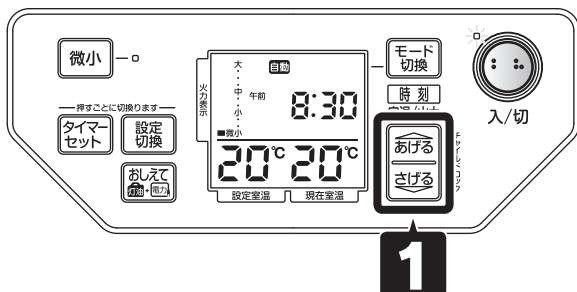
- 設定した火力で運転を続けます。
- 室温による火力調節はしません。

※エコプラス運転の消火・点火温度条件は変更することができます。 23ページ

使用方法

火力の調節

自動運転、エコプラス運転モード1・モード2



1

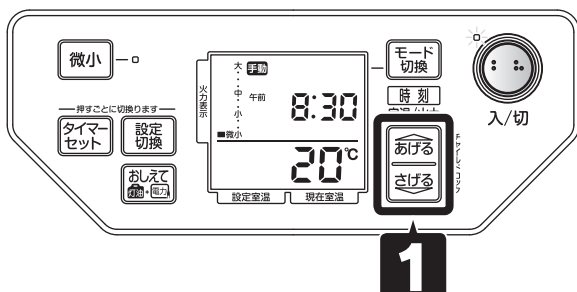


を押してお好みの温度を設定する

- 設定室温をお好みの温度に変更すると、「室温の設定を〇℃に変更しました」と音声でお知らせし設定が完了します。
- 出荷時の設定室温は20℃に設定してあります。
- 室温の設定範囲は以下の通りです。
自動運転・エコプラス運転モード1…12～32℃
エコプラス運転モード2 … 3～31℃※
※ただし、自動運転・エコプラス運転モード1で設定した室温より低い温度の範囲。
- 設定室温は一度設定すると記憶されます。
- 火力表示は実際の火力を表示します。
- 現在室温は1～36℃の範囲で表示されます。
現在室温は1℃未満のときは「Lo」、36℃を超えるときは「Hi」が表示されます。
- 現在室温の表示は室温のめやすです。設置条件によっては必ずしも室温と一致しません。

火力の調節

手動運転



1



を押してお好みの火力を設定する

- 火力をお好みの火力に変更すると、「火力を〇〇に変更しました」と音声でお知らせし設定が完了します。
- 出荷時の設定火力は微小に設定してあります。
- 火力表示と火力の呼び方は下記の通りです。

最 大	大
大3段	・
大2段	・
大1段	・
中3段	中
中2段	・
中1段	・
小3段	小
小2段	・
小1段	・
微 小	微小

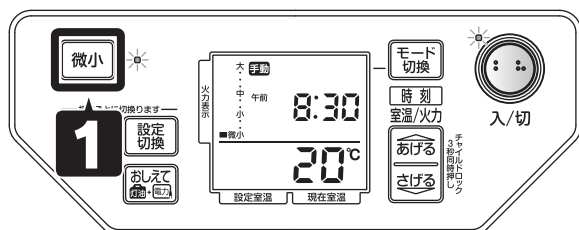
- 火力は一度設定すると記憶されます。
- 現在室温の表示は自動運転、エコプラス運転モード1・モード2と同じです。

お願い

- 室温調節が正しく働かないときは、室温サーミスタを適切な場所に移動してください。 [42ページ](#)
- 室温サーミスタ(ルームセンサー)は直接ストーブに取り付けしないでください。室温調節が正しく働かないだけでなくエコプラス運転の場合、室温より高い温度で感知し、点火・消火を頻繁に繰り返して故障の原因になります。
- ストーブの前面には温風をさまたげる障害物を置かないでください。
- 障害物があると温風が回り込み、室温調節が正しく働かない場合があります。

ワンタッチ微小運転

ワンタッチで微小運転したいときにお使いください。
最小火力で燃焼し続けます。

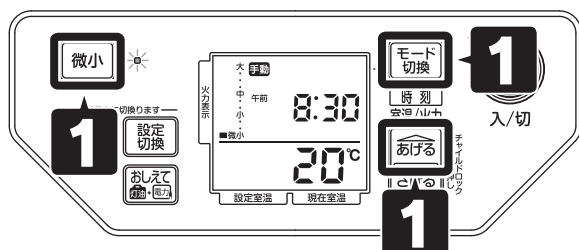


1

微小 を押す

- 微小ランプが点灯し「火力を微小に変更しました」と音声でお知らせして設定が完了します。

ワンタッチ微小運転の解除



1

微小 を再度押すか モード切換 または あげる を押す

- ワンタッチ微小運転中に微小ボタンを押すか、モード切換ボタンを押すと微小ランプが消灯し「自動運転します」と音声でお知らせし自動運転に切り換ります。
- ワンタッチ微小運転中に室温／火力調節ボタンの「あげる」を押すと微小ランプが消灯し「火力を1段に変更しました」と音声でお知らせし手動運転に切り換ります。

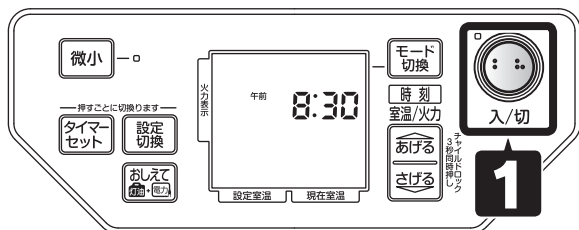
お願い

- ストープの据付けや給排気筒の設置条件により、炎が微妙な変化をします。
青い炎の中に黄色い炎が混じっても異常ではありません。
- 燃焼中「カチカチ」音がすることがありますが、電磁ポンプの運転音で異常ではありません。
- 燃焼中に再点火動作することがありますが、安全装置が働いた場合や瞬間的な停電によるもので異常ではありません。
- 設定室温や火力を大きく切り替えると対流用送風機の音が大きくなるありますが、ストーブの特性上のもので異常ではありません。

使用方法

消火

運転を停止します。



1



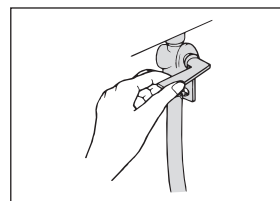
を再度押す

入/切

- 運転ランプが消灯し、「消火します」と音声でお知らせします。
- 表示部は時計表示以外消灯します。

2

油タンクの送油バルブを閉じる



3

消火を確認する

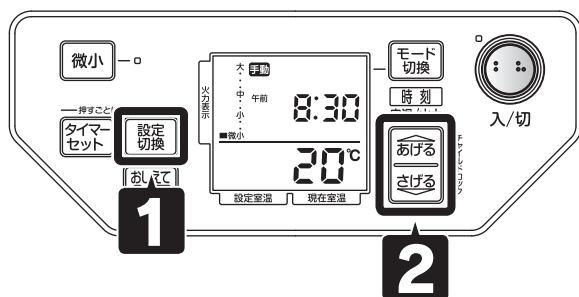
- 運転スイッチを「切」にすると瞬時に消火します。
- 消火後、ストーブを冷却するために約8分間対流用送風機が回り続けます。
- 対流用送風機の停止後、ボタン操作をせず2分間経過すると時計表示も消灯します。
(省電力表示について **16ページ** を参照してください。)

ご注意

- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは対流用送風機が停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。
ストーブが過熱し、故障の原因になります。
- お出かけになるときは、必ず運転スイッチを「切」にして消火してください。

設定切換

時刻合わせ・タイマー時刻合わせ



1

設定切換

を押す

- 設定切換ボタンを押すごとに、「時刻合せ」→「タイマー1時刻合せ」→「タイマー2時刻合せ」の順に表示が切り換り、音声でお知らせします。
- 時刻合わせ、タイマー時刻合わせは運転中、停止中のどちらでも操作ができます。

2

あげる または さげる

を押して時刻を変更する

- 時刻は出荷時に設定されていますが、多少のずれを生じる場合があります。時刻にずれがある場合は下記の方法で設定してください。
- 時刻合わせでは室温／火力調節ボタンの「あげる」「さげる」を1回押すごとに1分ずつ変更できます。
- タイマー1時刻合わせ、タイマー2時刻合わせでは室温／火力調節ボタンの「あげる」を1回押すごとに5分ずつ変更できます。
- 室温／火力調節ボタンの「あげる」「さげる」を長押しすると10分ずつ変更できます。
- モード切換ボタンを押すと午前／午後をワンタッチで切り換えできます。
- そのまま10秒間待つと表示されている時刻で設定され、現在時刻の表示に切り換ります。



(現在時刻を表示)



「時刻合わせができます」



「タイマー1
時刻合わせができます」



「タイマー2
時刻合わせができます」

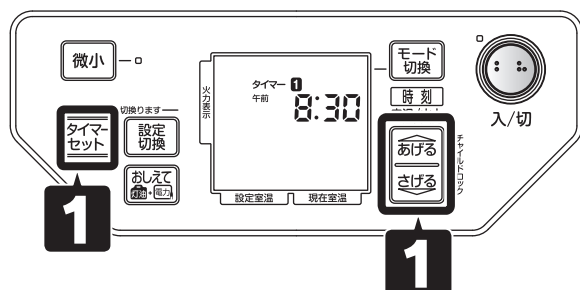
ご注意

- 時刻バックアップ用電池を搭載しているため、長期間コンセントを抜いても時刻を記憶していますが、電池の寿命がなくなるとコンセントを差し直した際の時刻表示に『-.-.-』と表示します。時刻バックアップ機能は動きませんが通常通り使用できますので、再度時刻を設定してご使用ください。

使用方法

タイマーセット

タイマー1・タイマー2



1



が「入」のときに **タイマーセット** を押す

入/切

- タイマーセットボタンを1回押すと「**タイマー 1 合せ**」が点灯し「**タイマー1をセットしました**」と音声でお知らせし、タイマー1のセットが完了します。
- タイマーセットボタンを2回押すと「**タイマー 2 合せ**」が点灯し「**タイマー2をセットしました**」と音声でお知らせし、タイマー2のセットが完了します。
- タイマーセットボタンを押してから5秒間はタイマー時刻を変更できます。室温／火力調節ボタンの「**あげる**」「**さげる**」を押しタイマー時刻を変更してください。タイマーのセットが完了すると「**合せ**」が消灯し時計表示が現在時刻の表示に切り換ります。
- タイマーのセットが完了してからタイマーセットボタンを押すと運転ランプが点灯に変わり、「**タイマーを解除しました、点火します**」と音声でお知らせし、点火を開始します。
- タイマーセットが完了してから運転スイッチを「切」にすると運転ランプが消灯し、「**タイマーを解除しました**」と音声でお知らせし、停止します。
- 燃焼中にタイマーをセットすると、運転ランプが点滅し消火します。

タイマー1

- タイマー時刻になると点火します。
- エコプラス運転モード2で運転中にタイマー1をセットするとエコプラスタイマーになります。

23ページ

タイマー2

- タイマー時刻になると点火します。
- 点火後約1時間で自動消火します。(出荷時)
- 自動消火までの間、「**タイマー 2**」の点滅と共に自動消火までの時間を1分ごとに点滅表示します。
- 約1時間後に自動消火すると運転ランプと「**タイマー 2**」が点灯し、表示部に「**00 of**」が表示されます。
- 点火後、タイマーセットボタンを押すと「**タイマーを解除しました**」と音声でお知らせし、自動消火せず運転を継続します。

タイマー2の自動消火機能について

- タイマー2にて点火後は、約1時間で自動消火します。
タイマー2でも自動消火せず運転を継続させたい場合は、以下の手順を参考にして設定してください。
- ① 運転スイッチを「切」にします。
 - ② 室温／火力調節ボタンの「**さげる**」とタイマーセットボタンを5秒間同時押しします。
 - ③ 表示部に「**60 of**」が表示されますので「**さげる**」を押して「**-- of**」に変更します。
 - ④ そのまま10秒間待つか、設定切換ボタンを押すと「**設定を変更しました**」と音声でお知らせし、設定が完了します。

ご注意

- 運転スイッチが「入」になっていないとタイマーセットできません。
- タイマー運転はお好みの運転でセットできます。
- お好みの運転の設定はタイマーボタンを押す前にもできます。
- タイマー運転をする場合は、周囲に可燃物や、その他危険な状態のないことを確認してください。
- お出かけのときはタイマー運転をしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。
- 停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマー運転は解除されます。

エコプラス運転について

- エコプラス運転を使用するとストーブが図1のように運転します。
- エコプラス運転モード1で運転中にモード切換ボタンを押し、エコプラス運転モード2に切り換えるとストーブが図2のように運転します。
- エコプラス運転モード1とモード2で設定温を個別に設定できる特徴を利用すると、モード切換ボタンを押すだけで設定室温を控えめにしたり元に戻したりする操作ができ便利です。

エコプラスタイマーについて

- エコプラス運転モード2で運転中にタイマー1をセットすると、タイマー時刻までエコプラス運転モード2で運転し、タイマー時刻になるとエコプラス運転モード1に切り換ります。(図3を参照してください)

エコプラス運転の消火・点火温度条件の調節について

- エコプラス運転モード1・モード2の消火・点火の温度条件を調節することができます。(図4を参照してください)
 - ※1…「消火温度」は室温が設定室温から何℃上昇すると消火するかを決めます。
 - ※2…「点火温度」は室温が「消火温度」から何℃低下すると再点火するかを決めます。
- 以下の手順と下図を参考にして設定してください。

- ①運転スイッチが「切」のときにモード切換ボタンを3秒間以上長押しすると「エコプラス運転の設定を変更できます」と音声でお知らせし、下図の表示に切り換ります。
- ②室温／火力調節ボタンの「あげる」「さげる」を押すと点滅表示している項目の設定を変更できます。
- ③モード切換ボタンを押すごとに点滅表示が切り換り、次の項目の設定を変更できます。
- ④モード2の点火温度を設定しモード切換ボタンを押すか各項目を設定中に15秒間以上ボタン操作がないと表示が元に戻り、「設定を変更しました」と音声でお知らせし設定が完了します。

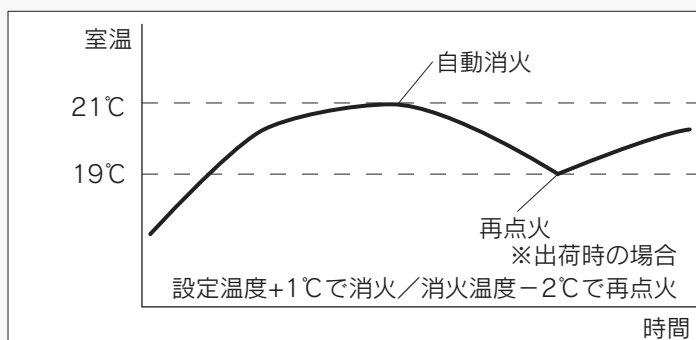


図1 エコプラス運転のストーブの動き
(設定温度が20℃の場合)

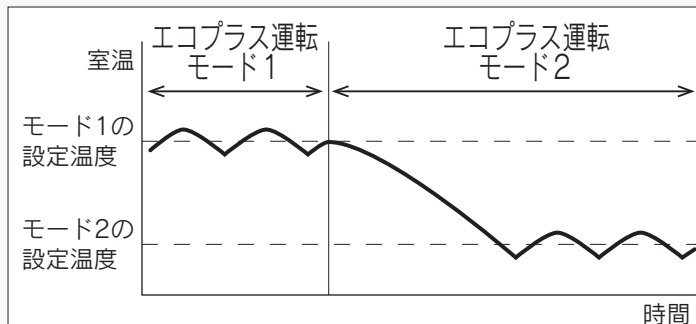


図2 エコプラス運転モード1からモード2に切り換えたときのストーブの動き

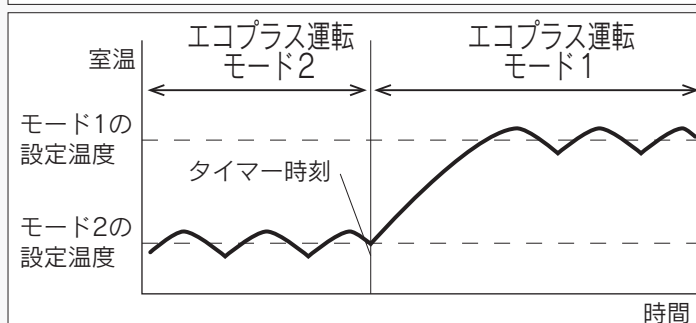


図3 エコプラスタイマーをセットしたときのストーブの動き

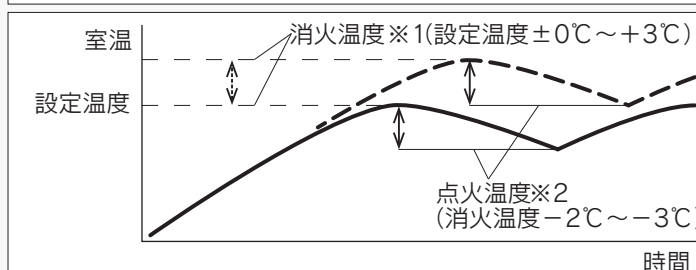
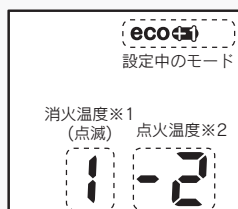


図4 エコプラス運転の消火・点火温度条件の調節について

	0	(出荷時) 1	2	3
消火温度 (設定温度に対して)	±0℃	+1℃	+2℃	+3℃

	-3	(出荷時) -2
点火温度 (消火温度に対して)	-3℃	-2℃

→モード切換ボタンを3秒間以上長押しする



モード1の消火温度※1を変更

→モード切換ボタンを押す



モード1の点火温度※2を変更

→モード切換ボタンを押す



モード2の消火温度※1を変更

→モード切換ボタンを押す



モード2の点火温度※2を変更

→モード切換ボタンを押す

使用方法

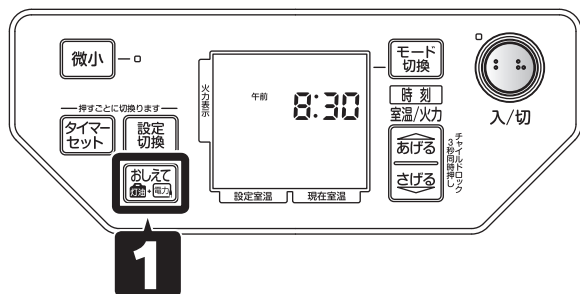
おしえて Navi (ナビ) プラス機能

灯油・電力の使用量やストーブの使用日数を表示します。

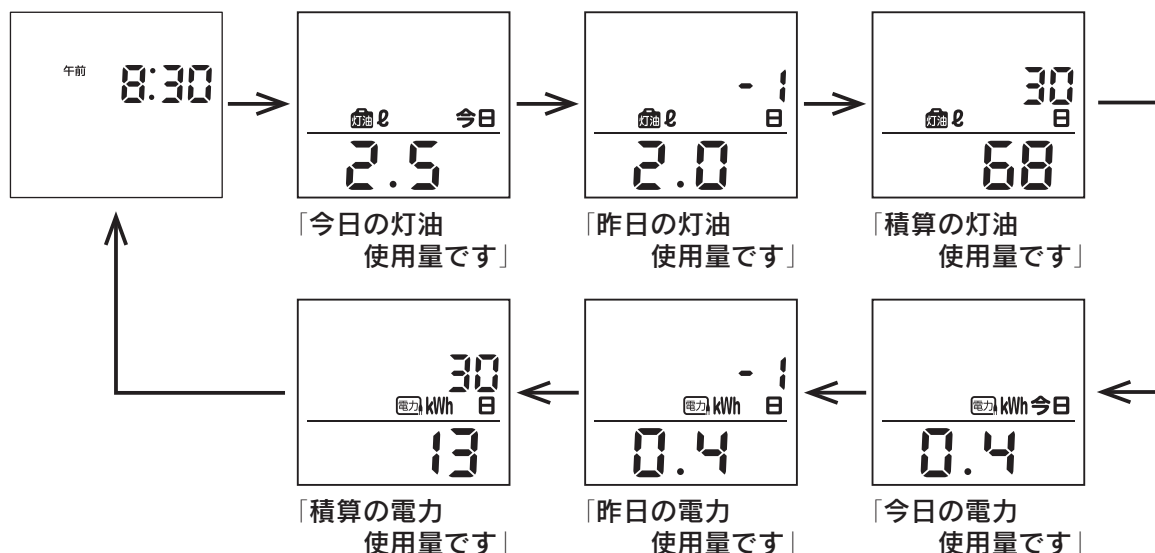
1



を押す



- おしえてボタンを押すごとに、「今日の灯油使用量」→「昨日の灯油使用量」→「積算の灯油使用量」→「今日の電力使用量」→「昨日の電力使用量」→「積算の電力使用量」の順に表示が切り換ります。
- そのまま10秒間待つと元の表示に戻ります。



- 「今日の灯油使用量」、「昨日の灯油使用量」は0.1ℓ単位で表示し、0.1ℓ未満は表示しません。また、「積算の灯油使用量」は1ℓ単位で表示し、1ℓ未満は表示しません。
- 「今日の電力使用量」、「昨日の電力使用量」は0.1kWh単位で表示し、0.1kWh未満は表示しません。また、「積算の電力使用量」は1kWh単位で表示し、1kWh未満は表示しません。
- 使用日数の表示の上限は9,999日です。また、灯油使用量と電力使用量の表示の上限はそれぞれ9,999ℓと9,999kWhです。それ以上使用しても積算値は変化しません。

今日の灯油使用量

- 午前12時(夜)から現在までの灯油使用量を表示します。

昨日の灯油使用量

- 前日の午前12時(夜)から24時間の灯油使用量を表示します。

積算の灯油使用量

- 使用日数は午前12時(夜)に更新し、一度ストーブの運転スイッチを「入」にすると使用日数に加算されます。

今日の電力使用量

- 午前12時(夜)から現在までの電力使用量を表示します。

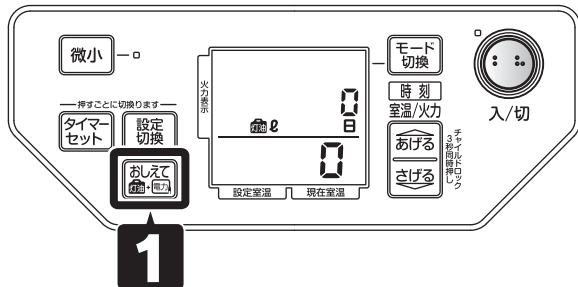
昨日の電力使用量

- 前日の午前12時(夜)から24時間の電力使用量を表示します。

積算の電力使用量

- 使用日数は午前12時(夜)に更新し、一度ストーブの運転スイッチを「入」にするか、タイマー運転中に午前12時(夜)になると使用日数に加算されます。よって、ご使用の状況により灯油使用量の使用日数と電力使用量の使用日数が一致しないことがあります。

積算値のリセット



1 リセットしたい項目を表示し を3秒間長押しする

- 「積算をリセットしました」と音声でお知らせし、積算値がリセットされます。
- 「今日の灯油使用量」と「昨日の灯油使用量」はリセットすると、それぞれの項目の灯油使用量が0ℓになります。
- 「積算の灯油使用量」をリセットすると、使用日数が0日、灯油使用量が0ℓになります。このとき、「今日の灯油使用量」と「昨日の灯油使用量」も0ℓになります。
- 「今日の電力使用量」と「昨日の電力使用量」はリセットすると、それぞれの項目の電力使用量が0kWhになります。
- 「積算の電力使用量」をリセットすると、使用日数が0日、電力使用量が0kWhになります。このとき、「今日の電力使用量」と「昨日の電力使用量」の電力使用量も0kWhになります。

ご注意

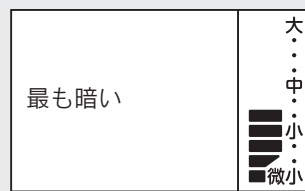
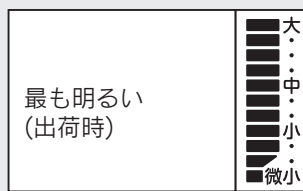
- 時刻が設定されていない状態に戻った場合は、灯油使用量、電力使用量、使用日数は表示されません。先に時刻合わせをしてください。 [21ページ](#)
- 灯油使用量、電力使用量はめやすです。実際の使用量と一致しないことがあります。
- 灯油使用量、電力使用量、使用日数は記憶され、長時間停電してもリセットされません。

表示画面の明るさ調節について

- 運転中の表示画面の明るさを調節することができます。

以下の手順と図を参考にして設定してください。

- ①運転スイッチが「切」のときにタイマーセットボタンを5秒間以上長押しすると「表示画面の明るさを設定できます」と音声でお知らせし、下図の表示に切り換ります。
- ②室温／火力調節ボタンの「あげる」「さげる」を押し、表示画面の明るさを7段階で変更できます。



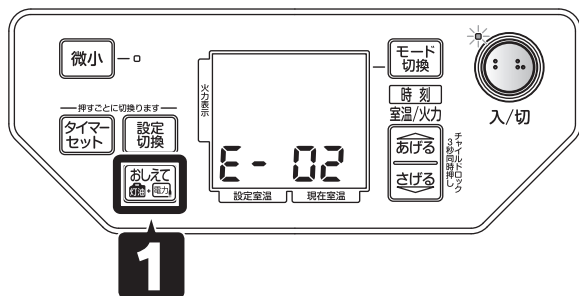
- ③お好みの明るさにし、設定切換ボタンを押すかそのまま15秒間待つと「設定を変更しました」と音声でお知らせし元の画面に戻り、設定が完了します。

使用方法

チェックモードガイド

チェックモードガイドについて

ストーブの安全装置などが作動すると表示部にチェックモードが表示されます。チェックモードガイドはチェックモード表示中におしえてボタンを押すだけで安全装置などが作動した原因と対処方法を音声でお知らせしてくれる便利機能です。



1 チェックモード表示中に を押す

- 運転中にチェックモードが表示されると「エラーが発生しました ストーブを冷却しています 電源プラグを抜かないでください」と音声でお知らせします。
- チェックモード表示中におしえてボタンを押すと表示されたチェックモードに応じて原因と対処方法を音声でお知らせします。「E-02」の場合は「強い振動を受けました 異常がないことを確認してから再運転してください」と音声でお知らせします。

ご注意

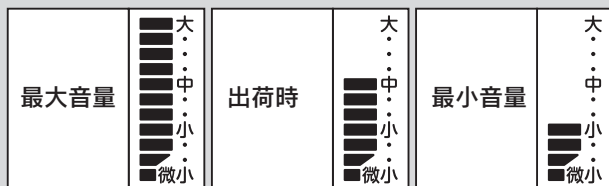
- 表示されるチェックモードによってはストーブの点検が必要な場合があります。チェックモード表示中におしえてボタンを押し「点検が必要です お買い求めの販売店にご連絡ください」と音声が出たときはチェックモードの番号を控えた上でお買い求めの販売店にご連絡ください。
- チェックモード表示の多くは運転スイッチを「切」にすると解除されます。チェックモードガイドを利用したいときは運転スイッチを「切」にする前におしえてボタンを押してください。

音声の設定について

- 音声機能を「切」にすることができます。
以下の手順を参考にして設定してください。
 - ①運転スイッチが「切」のときに微小ボタンと室温／火力調節ボタンの「あげる」を5秒間以上同時押しすると「音声を設定できます」と音声でお知らせし「on」が表示されます。
 - ②室温／火力調節ボタンの「さげる」を押すと表示が「OFF」に切り換ります。
 - ③そのまま15秒間待つと設定切替ボタンを押すと表示が元に戻り設定が完了します。
- 音声機能を「入」にするときは上記の手順①のあと、室温／火力調節ボタンの「あげる」を押して表示を「on」に戻してください。

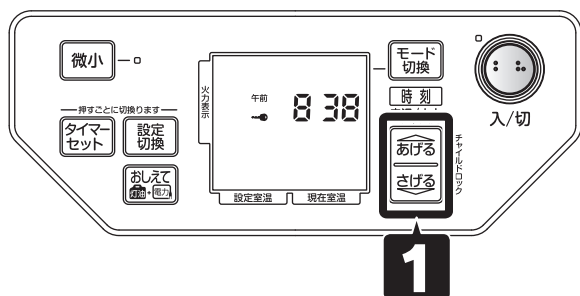
音量調節について

- 音量を調節することができます。
以下の手順と図を参考にして設定してください。
 - ①運転スイッチが「切」のときに微小ボタンを5秒間以上長押しすると「音量を設定できます」と音声でお知らせし、右図の表示に切り換ります。
 - ②室温／火力調節ボタンの「あげる」「さげる」を押し、音量を8段階で変更できます。



- ③お好みの音量にし、設定切替ボタンを押すかそのまま15秒間待つと「設定を変更しました」と音声でお知らせし元の画面に戻り、設定が完了します。

チャイルドロック



チャイルドロックについて

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないようにしたいときに使用します。

1 を同時に3秒間長押しする

- 「」を表示し「チャイルドロックしました」と音声でお知らせし、設定が完了します。
- チャイルドロック中は運転スイッチを「切」にする操作以外の操作を行うと「チャイルドロック中です」と音声でお知らせし、操作を受け付けません。
- チャイルドロック中に室温／火力調節ボタンの「あげる」「さげる」を同時に3秒間長押しすると「チャイルドロックが解除されました」と音声でお知らせし、チャイルドロックが解除されます。

日常の点検・手入れ

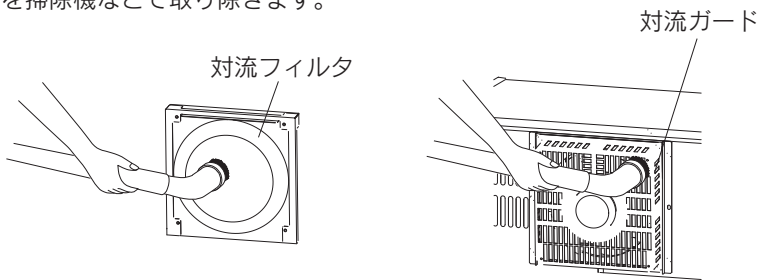
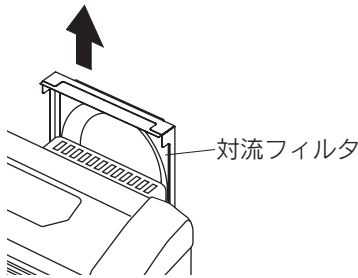
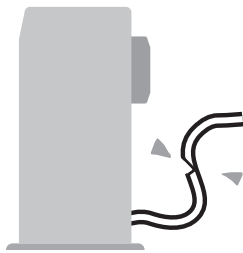
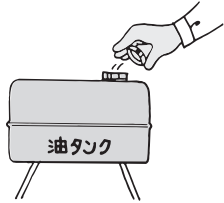
点検・手入れのときの注意

注意

●必ず運転スイッチを「切」にしてストーブの運転を停止し、ストーブが冷えた状態で行ってください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方	法
シーズンはじめ	給気ホース・排気管	●給気ホース・排気管の接続箇所がはずれていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。	
	給排気筒トップ	●室外の給排気筒トップが、鳥の巣・ビニール袋などでふさがれていないか点検します。	
使用ごと	油漏れ・油のたまり・油のにじみ	●ゴム製送油管や置台に油漏れ・油のたまり・油のにじみがないか点検します。	
	周囲の可燃物・引火物	●ストーブの上・周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物・引火物がないか点検します。	
	排ガスの漏れ	●排ガスの臭いや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていると危険です。	
	給排気筒トップ	●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。	

時期	点検・手入れ項目	方 法
週に1回以上	対流フィルタ 対流ガード	●ストーブ背面の対流フィルタ、対流ガードに付いたほこりを掃除機などで取り除きます。  対流フィルタのはずし方 1 対流フィルタのとつてを持ち、対流フィルタをはずしてください。 2 掃除終了後は、確実に取り付けてください。 
	ストーブ外装 安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。	●ストーブ・置台などのほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
1シーズンに2～3回	ゴム製送油管	●ゴム製送油管にひび割れが生じていないか点検します。 ●ゴム製送油管は経年劣化しますので3年に1度は新しい物に交換してください。 ●交換はお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。 
	電源プラグ	●電源プラグにはこりが付着していないか点検します。
給油のとき	油タンク	●油タンク内に水やゴミがたまっていないか点検します。 ●油タンク内の水抜き、ストレーナ(ろ網)の掃除は、油タンク付属の取扱説明書に従って行ってください。 

定期点検

- 機器は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部分がありますので、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所で定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。

ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めの販売店にご相談ください。

定期点検

定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置および運転動作の点検・確認・使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検などを行います。

安全にお使いいただくために、製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

お申し込み先

お客様→お買い求めになった販売店または最寄りの工場・支店・営業所。

定期点検費用

定期点検の費用についてはお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。

定期点検の結果、部品交換および修理などが必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談申しあげます。

定期点検の内容

定期点検の内容	項 目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	● 製品の設置・使用状態 ● 送油経路部の油漏れ(ゴム製送油管含む) ● 給排気筒接続とつまり ● 給排気筒トップのつまり
安全装置および運転動作の点検・確認	● 安全装置の働き ● 運転動作の点検操作 ● 操作部品や動く部品の働き
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	● 給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検 ● バーナの点検 ● 各種送風機の点検 ● 各種パッキンの点検 ● ガラスの点検(劣化の状態により交換の場合もあります。)
製品の清掃・整備	● 本体内 ● 対流ガード・送風機 ● 油タンクの水抜き ● 送油経路 ● 対流フィルタ

設計上の標準使用期間について

設計上の標準使用期間の表示と説明

- この機器の設計上の標準使用期間を8年と算定しており、適切な点検を行わず、この期間を超えて使用すると経年劣化による発火・けがなどの事故の原因になるおそれがあります。
- 設計上の標準使用期間とは、製品ごとに設定した設計的に想定した標準的な使用(下記の＜設計上の標準使用期間の算定の根拠＞参照)による使用期間をいいます。
- 設計上の標準使用期間を過ぎての製品の使用については、経年劣化により安全性が損なわれ、ひいては重大事故に至るおそれがあります。そのため設計上の標準使用期間は、使用者が不具合なく製品を使用している点検・取替えの検討を開始するためのめやす(指針)とするものです。また、設計上の標準使用期間は、無料保証期間とは異なります。

設計上の標準使用期間の算定の根拠

この機器の設計上の標準使用期間は、製造年月を始期とし、日本産業規格 JIS S 2073 の「家庭用密閉燃焼式石油温風暖房機の標準加速モード及び試験条件」に基づき右表の標準使用条件を想定し、当社において耐久試験などを行った結果算出された数値などに基づき経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した期間を終期として、設計上の標準使用期間を設定しています。

標準使用条件

項目	条件
1. 年使用時間	2,500時間
2. 換気回数	1回/h
3. 使用条件	—
・電源電圧/周波数	100V / 50Hz/60Hz
・暖房設定温度	22℃

標準的な使用条件と異なる使用をした場合の留意点

- 製品の使用条件または使用頻度が、その根拠となった数値よりも高い場合
 - 製品が目的以外の用途で使用された場合
 - 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合
 - 業務用(ホテル・喫茶店・理髪店・美容室・飲食店・事務所など)で使用情况
 - その他経年劣化を特に進める事情が存在する場合
- 上記のような使用をした場合は、設計上の標準使用期間よりも短期間で製品が経年劣化し、安全上支障が生じるおそれが多くなります。

清掃などの日常的に行うべき保守の内容とその方法

- 製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全確認を行っていただくようにお願いします。
- 点検・手入れは必ず消火後、電源プラグを抜き、製品が冷えてから行ってください。
- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・整備は絶対にしないでください。
- 油漏れなどの異常がある場合は、販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
- 詳しくは日常の点検・手入れの項を参照してください。

あんしん点検に関する事項

設計上の標準使用期間の8年になりましたらあんしん点検(有料)を受けてください。

- 点検費用について
 - ・点検費用はお客様にご負担いただくことになります。
 - ・点検費用は技術料・出張料などを合計した金額となります。
- 各地域の点検などに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所で対応します。
- あんしん点検では、その時点での技術基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。また、あんしん点検は整備ではありません。
- あんしん点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途整備・修理費用が発生します。
- あんしん点検後、整備に必要な部品は補修用性能部品とは異なることがあります。
- あんしん点検の結果、修理が必要となった場合は修理が完了するまで使用できません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。

現 象		原 因
点 火 時 ・ 消 火 時	初めて使用するときやシーズン初めに、煙や臭いが出る	●耐熱塗料やほこりが烧けるためです。 異常ではありません。
	運転開始時や停止時に、「ポコン」という音がする	●本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。 異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	●本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。 異常ではありません。
	点火後数秒間「ポッポツ」という音がする	●点火を確実にするためで、15～20秒間程で正常になります。
燃 焼 時	瞬間的に炎が大きく広がる	●送油経路内に空気が入った時発生する現象です。 異常ではありません。
	点火プラグ・フレイムロッド・バーナーヘッドが赤くなる	●炎に熱せられ赤熱するためです。 異常ではありません。
	炎が赤橙色に輝く	●青い炎が最良の燃焼状態ですが、炎色反応により炎が赤橙色に輝くためです。 ・海岸に近いところなど空気中に塩分が多いためです。 ・空気中に浮遊じんが多いためです。 異常ではありません。
	「カチカチ」という音がする	●電磁ポンプの運転音で、異常ではありません。
そ の 他	ガラスが白くなる	●灯油中の成分がガラスに付着するためです。 異常ではありません。
	暗いとき、リセットボタンを押す穴から青白い光が見える	●定油面器の油切れ検知装置の点滅光です。 異常ではありません。
	液晶表示部に、1分毎に『88』または『888』を1秒間隔で5回点滅表示する	●点検時期お知らせ機能による点検時期のお知らせです。 故障ではありません。 37ページ
	ストーブが停止後に何も表示しなくなった	●省電力表示中です。異常ではありません。 16ページ

異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

現象 原因	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立ち上がる	液晶表示部に表示されたチェックモード						処置の方法	参照ページ
				E-00	E-03 E-05 Oil	E-CC CCCC (点滅)	E-02	E-07 E-25	E-19		
電源プラグがコンセントから抜けている	●									●電源プラグをコンセントに確実に差し込む	14
油タンクに灯油がない		●			●					●油タンクに給油する	13
停電があった				●						●運転スイッチを押しなおす	34
油タンクの送油バルブが閉じている		●			●					●送油バルブを開く	34 35
定油面器の安全装置が作動している		●			●					●リセットボタンを押す	14
対流フィルタや対流ガードにほこりがたまっている								●		●掃除をする	29 34
対流フィルタがカーテンでふさがっている								●		●カーテンを取り除く	34
給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●				●給排気筒トップ先端の遮へい物を取り除く	28 34
地震や強い衝撃があった							●			●ストーブ周囲、油漏れ、給排気筒を点検する	28 34
排気管が抜けている									●	●確実に接続する	35

- 以上の方法で点検し、処置しても直らないときは、使用を中止しお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
- 修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるチェックモードをご連絡ください。

故障かな？と思ったら

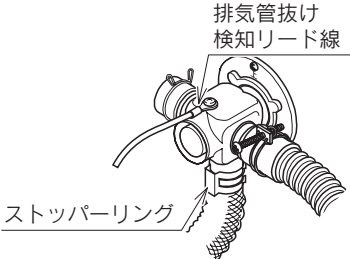
安全装置

異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。
異常燃焼を長時間続けますとバーナ部などにカーボンが付着し、故障の原因となりますので、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
詳しくは別紙「炎の状態について」をご覧ください。

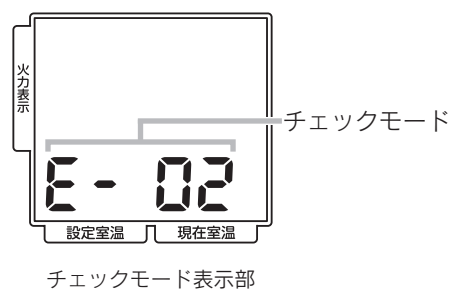
安全装置のなまえ 作動の原因	チェックモード	処置の方法
対震自動消火装置 ●地震(震度5程度以上)のとき ●強い振動や衝撃を受けたとき	E-02	●ストーブの周囲や給気管・排気管のはずれや緩み、油漏れなどの異常がないことを確認し再点火操作してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E-00	●通電後、再点火操作してください。
過熱防止装置 ●対流フィルタや対流ガードにほこりがたまったり、対流ガードがカーテンなどでおおわれたとき	E-07	●対流フィルタや対流ガードの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火操作してください。 29ページ
点火安全装置・燃焼制御装置 ●点火不良	E-03	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ・ゴム製送油管に空気だまりがないか。13ページ ・定油面器の安全装置が作動していないか。14ページ ・再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
●途中で火が消えたとき	E-05	
不完全燃焼防止装置 ●不完全燃焼になった排ガスが室内に漏れたとき	積算作動回数1~3回 E-CC	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・給排気筒トップの先端がふさがれていないか。28ページ ・再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
【連続不完全燃焼通知機能】 ●連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数4~6回 CCCC (点滅)	
【再点火防止機能】 ●連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数7回 CCCC (点灯)	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 ●『CCCC』が点灯するとストーブが使用できなくなります。

その他の装置

安全装置のなまえ 作動の原因	チェックモード	処置の方法
排気管抜け検知装置 ● 排気管接続部のはずれ ● 排気管抜け検知リード線がはずれたり断線したりしたとき ● ストッパーリングが正しく取り付けられていないとき	E-19	● 排気管や排気管抜け検知リード線を点検し、確実に接続してから再点火操作してください。 ● ストッパーリングが正しく取り付けられているか確認してください。 
油切れ検知装置 ● ストープに灯油がきていないとき	0 IL	● 次のことを確認し、再点火操作してください。 ・ 油タンクに灯油はあるか。 ・ 油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ・ ゴム製送油管に空気だまりがないか。 13ページ ・ 定油面器の安全装置が作動していないか。 14ページ
油面検知装置 ● 定油面器の油面が上限を超えたとき	E-74	● お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

チェックモード



チェックモードに下記のような表示が出たときは、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

チェックモード	原 因	処置の方法
E- 11	電磁ポンプが動く前に炎を検知した。 (フレームロッドの短絡)	● お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E- 12	予熱時に気化器サーミスタが一定の温度に達しなかった。	
E- 22		
E- 24		
E- 13	運転中に気化器サーミスタが断線した。	
E- 14	運転中に室温が異常高温になった。	● 換気をして室温を下げる。 再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E- 15	運転中に室温サーミスタが断線した。	● お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、強制的に手動運転となり、ストーブ運転は可能です。その間は現在温度表示部に『EL』が点滅表示されます。)
E- 18	燃焼用送風機が動作しなくなった。	● お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E- 25	気化器サーミスタが短絡した。	
E- 55	給気温サーミスタが断線した。	
E- 56	給気温サーミスタが短絡した。	

※現在温度表示部に『EL』の表示が出たときは『E-15』を参照してください。

点検時期お知らせ機能

下記のチェックモードは点検時期お知らせ機能の表示です。故障ではありません。

- この機器には、点検時期お知らせ機能が搭載されております。
- ストーブの使用時間が設計上の標準使用期間の8年相当を経過すると表示部に『88』を表示(1分毎に1秒間隔で5回点滅)して、点検時期をお知らせします。
- 故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。
- 点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。点検のご案内をさせていただきます。
- あんしん点検を受けてから3年相当の使用期間が経過すると表示部に『888』を表示(1分毎に1秒間隔で5回点滅)して点検時期を再度お知らせします。

チェックモード	原因	処置の方法
1分毎に1秒間隔で 5回点滅表示する 88 888	点検時期になった (設計上の標準使用期間経過)	●故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。 ●点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。点検のご案内をさせていただきます。

故障かな？と思ったら

このような状態のときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じて販売店にご連絡ください

- 使用される場所や条件または長期間の使用により、下記のような状態が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

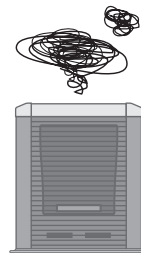
排ガスの臭いがしたり、目がチカチカしたりする

- 排ガスが漏れているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れていますと、危険です。



黒煙を出して燃える

- 異常燃焼しています。



点火・燃焼・消火するときに「ボン」という大きな音がした

- ストーブが損傷したり、パツキンが飛散したりしているおそれがあります。



置台に油が漏れている

- 送油配管より油が漏れています。



部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

消耗、劣化しやすい部品

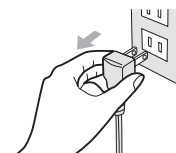
項 目	内 容
使用時間により交換が必要な部品	排気管接続用Oリング(FKM-70(フッ素)(JIS B 2401-1)P40) 各種パッキン・ガラス
環境により劣化しやすい部品	給排気筒系部品・制御基板・燃烧用送風機・対流用送風機 ゴム製送油管
不良灯油を使用して劣化しやすい部品	電磁ポンプ・定油面器・電磁弁

保管

- 長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

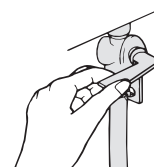
1 電源プラグをコンセントから抜く

- ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 ストープ外装、対流フィルタ、対流ガードの掃除をする 29ページ

3 油タンクの送油バルブを閉じる



4 ストープは据付けたまま保管する

- どうしても取りはずして保管するときは、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- 次シーズンに据え付けるときには、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

仕様

型式の呼び	FFR-G5640SX	
種類	回転霧化式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式	電気点火	
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態	最大	最小
燃料消費量	6.50kW(0.632L/h)	2.42kW(0.235L/h)
発熱量	23,400kJ/h	8,710kJ/h
熱効率	86.0%	86.0%
暖房出力	5.59kW	2.07kW
外形寸法	高さ615mm 幅559mm 奥行293mm (置台を含む)	
質量	21kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	最大(点火時)860/855W 燃焼時41/39W	
待機時消費電力	0.7/0.7W	
電源コードの長さ	約2m	
給排気筒の型式の呼び	FWT-6Z-2	
給排気筒の呼び径	D40	
給排気筒の壁貫通部の孔径	80~85mm	
排気温度	260℃以下	
電流ヒューズ	筒形30mm 10A 1個、筒形20mm 5A 1個	
安全装置	対震自動消火装置・停電安全装置・点火安全装置 過熱防止装置・燃焼制御装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置	排気管抜け検知装置・油切れ検知装置・油面検知装置	
付属品	壁固定金具・ワイヤーバンド大・ゴム製送油管(1.2m)・4×6ねじ・4×25タッピンねじ ワイヤーバンド小・給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング・ 取扱説明書・工事説明書	

据付け・移設

据付け・移設工事は販売店に依頼する

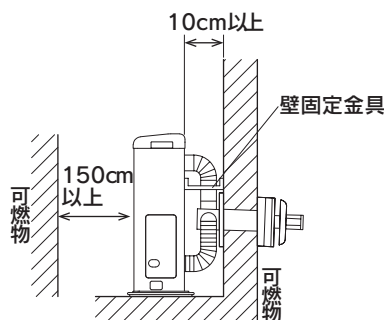
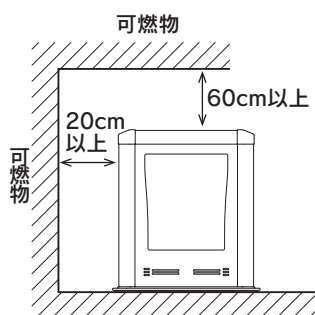
- 据付けや移設工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

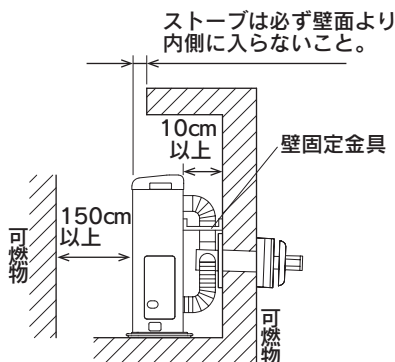
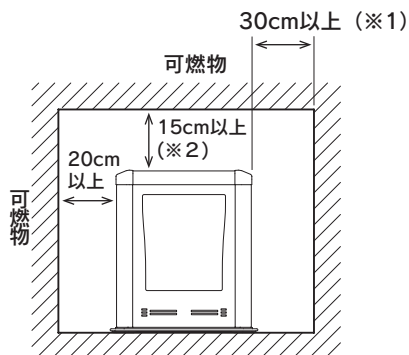
- 据付けについては、火災予防条例・電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については下図をご覧ください。

【機器から周囲の可燃物までの離隔距離】

- ・機器右側面と壁面は保守点検のため、30cm以上離してください。



- ・マントルピースなどストーブが囲われる場所に設置する場合
(ストーブは必ず壁面より内側に入らないこと。)



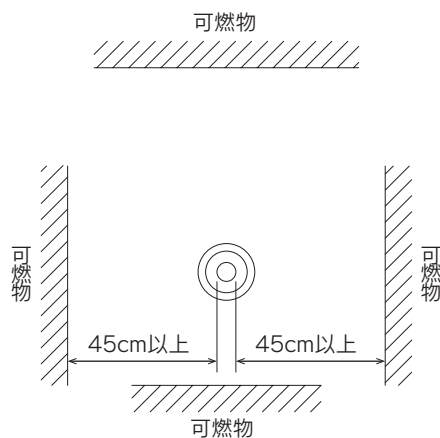
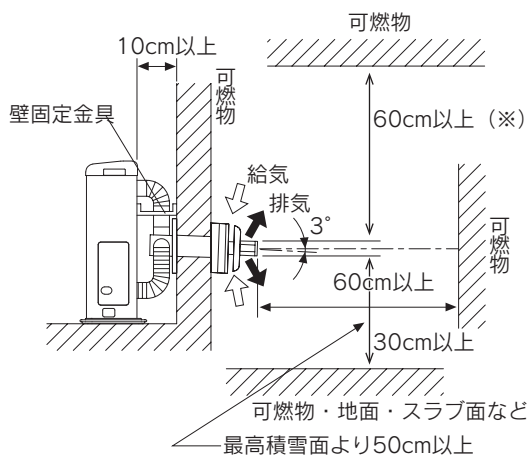
※1 保守点検のため30cm以上離してください。
※2 防火性能認証品のため、この寸法で設置できます。

ご注意

- マントルピースなどストーブが囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料または準不燃材料あるいは防熱板で仕上げを行ってください。
- 上図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。
- 熱に弱い物の上には据え付けしないでください。

据付け・移設

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】

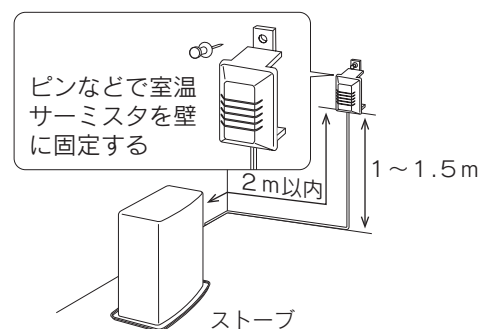


注(※)不燃材を使用する場合は30cm以上とする。

- ・ 給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。
- ・ 雪の多い地方では、最高積雪面よりも 50cm 以上離れる場所に、給排気筒を取り付けてください。
- ・ 不燃物の場合でも性能維持のため、上図離隔距離としてください〔(※)部は除く〕。

室温サーミスタの取付け

- 室温サーミスタを壁面に固定してください。
室温サーミスタをストーブよりはずし、部屋の温度を代表できる壁面にピンなどで固定してください。ストーブに取り付けたままですと、正しく室温調節しません。
室温サーミスタのリード線の長さは約2.5mです。その範囲内で取り付けてください。
室温サーミスタは直射日光やふく射熱があたる場所には取り付けしないでください。正しく室温調節しません。



給気管・排気管を延長する場合の注意

- 給気管・排気管を延長する場合は、3m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

積雪地区における注意

- 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。
また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

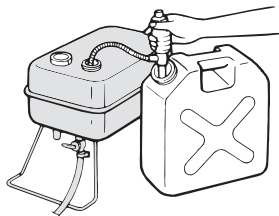
据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられていることを確認してください。
- 給気管・排気管を延長設置している場合、延長長さは3m以下、曲がりは3箇所以下になるようにしてください。

試運転

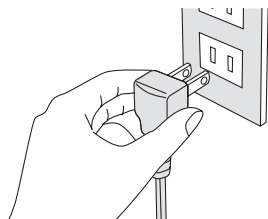
試運転は、販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

運転準備

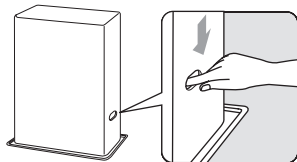


1 油タンクに給油する

13 ページ



2 電源プラグをコンセントに差し込む



3 定油面器のリセットボタンを押す

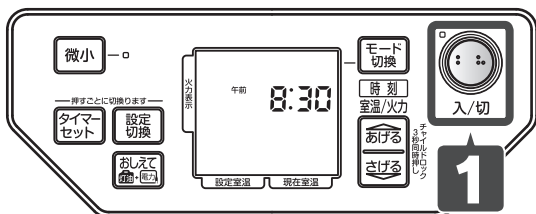
14 ページ

確認

- 油タンク・送油管・ゴム製送油管から油漏れはありませんか。
- 置台の上などに油がこぼれていませんか。

試運転

運転



1

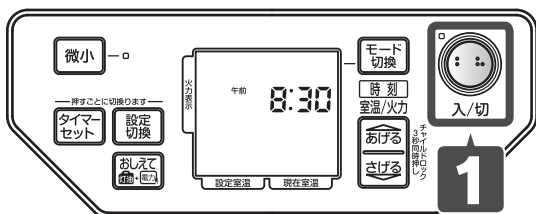


を押して、「入」にする

入/切

- 運転ランプと表示部が点灯し「点火します」と音声でお知らせします。
- ゴム製送油管内に空気がたまっていることがありますので、ゴム製送油管を振って空気を抜いてください。
- 約100秒間予熱後、着火します。
着火後、約1分間予備燃焼を行い、本燃焼へ移行します。
本燃焼へ移行して約1分経過後に対流用送風機が回ります。

消火



1



を再度押して、「切」にする

入/切

- 運転ランプが消灯し、「消火します」と音声でお知らせします。
- 消火後、ストーブを冷却するために約8分間対流用送風機が回り続けます。

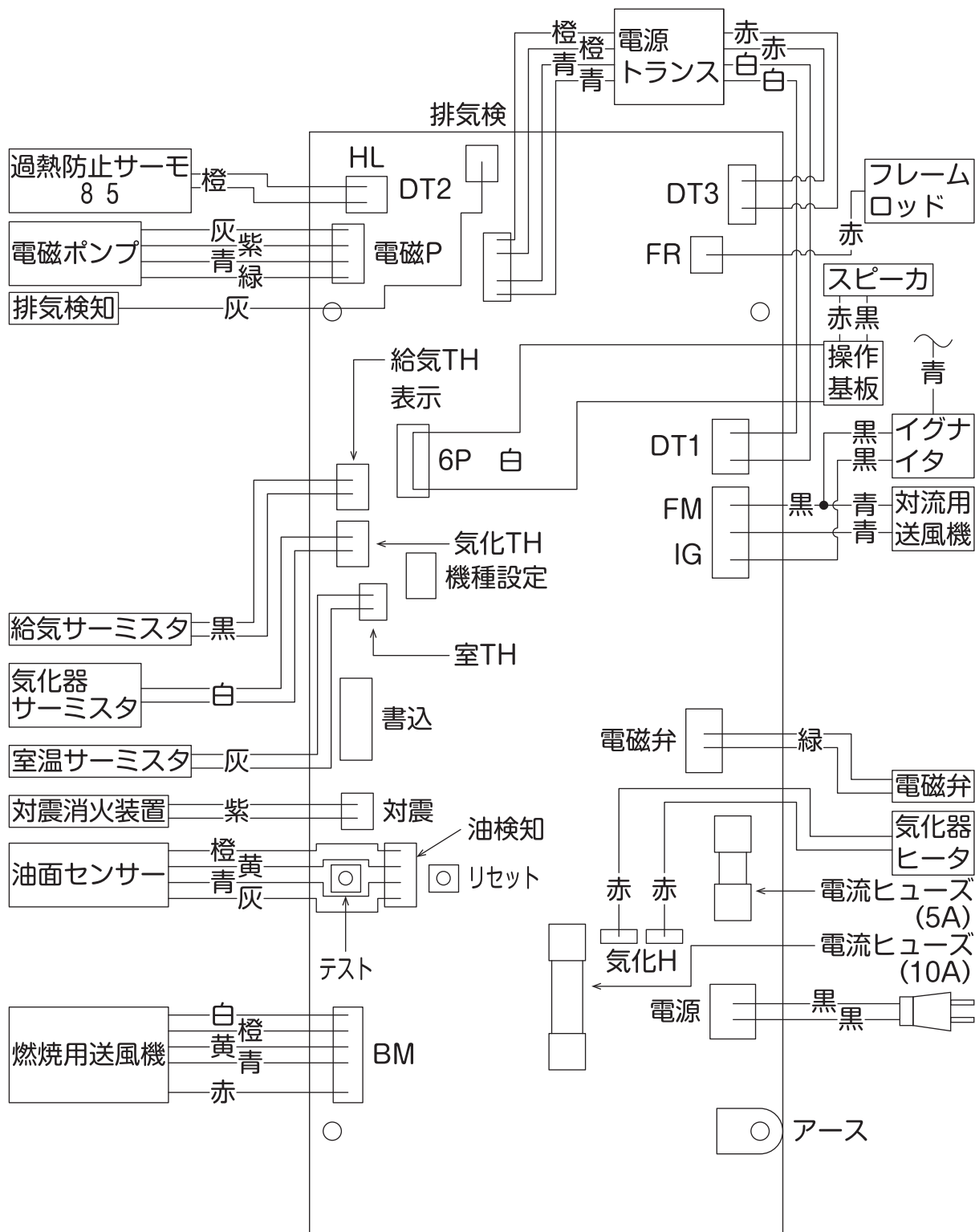
正常運転のめやす

- 正常運転のめやすとして **32～38ページ** のような現象がないことを確認します。

お願い

- 機器より煙や臭いが出ることがありますが、燃焼室の塗装やパッキン類が焼けるためで異常ではありません。最大燃焼で数十分運転すると消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

配線図



ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

●このページは空白です。

●このページは空白です。

●このページは空白です。

長府石油暖房機 保証書 (販売店様控)

型 名	FFR-G5640SX		
★製 造 番 号	No.	保証期間	3 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油暖房機 保証書 (お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	FFR-G5640SX		
★製造番号	No.	保証期間	3 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理をご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 公害による不具合
- (12) 電気・燃料等の供給トラブル等に起因する不具合
- (13) 指定規格以外の電気・燃料を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「故障かな？と思ったら」[32～38ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	密閉式石油ストーブ
型名	機器側板の銘板に記載されています。 10ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 一般家庭用の暖房以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を
目的として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:10～18:00
土日祝 8:10～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 油漏れがある。
- 煙が出たり、灯油の臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、送油バルブを閉めて、
お買い求めの販売店に点検・修理を依頼
してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1